



みすどかる

須坂小学校

「自分から」「つながる」
「認め合う」

須坂支援学校

「自分から、自分で、
せいっぱい」

発行責任者:小松賢吾(校長)

心をこめて「ありがとう」「おめでとう」

～「6年生に感謝する会」「ありがとうの会」「卒業を祝う会」～

卒業式が間近となり、3月7日(金)に小学校「6年生に感謝する会」と小学部「ありがとうの会」、10日(月)に中学部「卒業を祝う会」が行われました。

須坂小学校



小学校では、本年度から行ったなかよしグループ(縦割り班活動)の班ごとに、1～5年生が役割分担をして自分のグループの6年生へ感謝の言葉を伝えました。なかよしグループの活動は本年度初めて支援学校の子どもたちも交えて行ったため、高学年だけでなく低学年や支援学校のお友達まで楽しめる活動を考え、実際に会を運営していくのは大変だったと思います。1～5年生たちからは、「楽しくしてくれてありがとう」「盛り上げてくれてありがとう」「助けてくれてありがとう」「支えてくれてありがとう」という感謝の言葉が並び、「6年生はすごいと思った」「6年生になっても頑張ります」という発表が続きました。班ごとに寄せ書きの色紙が贈られると、嬉しそうに見入っている姿が印象的でした。

縦割り活動を通して、須坂小の6年生としての役割、リーダーとしてあるべき姿を示していた6年生の姿があり、それをちゃんと下の学年の子どもたちが感じ取っていたことにとっても嬉しくなりました。6年生からも寸劇を通して小学校生活の思い出発表があり、その姿からはその充実感が伝わり、1～5年生がその発表を立ち上がって嬉しそうにみている姿からは、いかにリーダーとして信頼され、慕われていたかが伺われました。

6年生からは最後に「一日一日を楽しく過ごしてってください!」という呼びかけがありました。一日一日の積み重ねが6年間の充実につながります。これからも、それぞれの学年に応じた自分の「役割」を果たしながら、その学年に応じた楽しみを日々積み重ねてほしいと思います。

須坂支援学校



小学部では、5年生が司会進行をしたり盛り上げたりしながら、「ありがとうの会」を運営してくれました。各学級のお友達から思いのこもったプレゼントが次々と渡され、6年生は照れ臭そうにしながらも嬉しそうにもらっていました。次に、小学部全員で「こころのねっこ」の歌を歌ったり曲に合わせて体を動かしたりし、6年生もそれぞれが得意な楽器を使って「あの青い空のように」を演奏してくれました。最後には卒業生5人によるくす玉割りがあり、中から紙吹雪やお祝いメッセージが出てきて、卒業生はご満悦の様子でした。高学年のにじ組、つき組それぞれでリーダーシップを常に発揮し、小学部全体の盛り上げ役だった6年生。全員が中学部に進学しますが、部は違っても引き続き仲良くしてもらえたらと思います。無事に「ありがとうの会」を運営した5年生を中心に、小学部の更なるパワーアップに期待をしています。



中学部の「卒業を祝う会」も、来年度生徒会長を中心に会の準備や運営をしてくださいました。会の中では、絵本の「へんしんトンネル」の世界に全員で入ってなりきる、風船バレーやボウリングをする、ハンドベルでピリブの演奏をするなど、盛りだくさんの内容でした。

3年生から、手作りローソクと毛糸で作ったどんちゃん人形のプレゼントがあり、1,2年生からは、卒業生4人の大きな写真にお花紙で装飾したものが贈られ、みずずホールに展示されました。

最後は在校生と卒業生が一緒になって、黒板に貼られた「ありがとうの花」を咲かせていき、とても満足そうでした。

小学部でも中学部でも、友だちや先生方とのあたたかな絆の中で成長してきた卒業生たちの満足感と、これからも「自分から、自分で、せいっぱい 自分らしく輝く」生活を送ってくれることが期待できる素敵な時間でした。

小学校、小学部、中学部、どの会も、「ここは、もう大丈夫！ 私たちに任せて安心して卒業してね！」そんな思いにあふれ、卒業生へのエールが込められた心温まる会になりました。

「第3回くぬぎの森学園運営委員会」が開かれました

須坂小学校・須坂支援学校の「信州型コミュニティスクール運営委員会」である「くぬぎの森学園運営委員会」が3月6日（木）に行われました。今回は、今年度の学校評価の結果や非違行為防止研修の実施状況、地域とかかわる活動についての報告させていただきました。本年度も地域おこし協力隊や中央地域公民館、学習ボランティアの皆さんなど多くの方にご協力を頂き、地域に支えていただき本当にありがたいことだと感じております。最後に、外部から見た両校の運営に対してご意見をいただきました。その中で、支援学校の「ぶれジョブ」の取り組みが、仕事を受け入れている側にも大きなメリットが感じられ一層活動が広がることに期待したいこと、地域とのかかわりを今後も一層重視し連携していくことが重要であるなど、今後の本校の在り方に大きなご示唆を頂きました。

来年度に向け、PTAと学校が共催して地域の方をたくさん講師にお迎えして行う「くぬぎの森体験フェスティバル」についても、一層活動が広がるような講師の提案もいただきました。両校の児童生徒にとっての活動がさらに充実するよう検討してまいります。今後は、今まで以上に子どもたちが地域に飛び出し、地域と共に歩いていく学校であり続けたいと思いますので、よろしくお願いします。

来年度に向けて

- ・両校や地域との架け橋としてトカラヤギの「めえめえ」ですが、残念ながら3月10日（月）にお別れをして須坂市動物園に帰ることとなりました。地域の皆様にもかわいがっていただきありがとうございました。
- ・昨年度も行った、3月21日の世界ダウン症の日及び4月2日の世界自閉症啓発デーに合わせた「ライトイットアップ ブルーアンドイエロー」を本年度も3月21日（金）～4月5日（土）まで行います。3月29日（土）の16:30からは間夜祭イベントを行います。詳しくは家庭配布した通知か、両校のホームページにチラシを掲載してありますのでご確認ください。
- ・支援学校の増築工事が始まり、西門が工事車両専用となり通れなくなったため、通学路を変更して全校が正門（東門）からの登下校になりました。ご承知おきください。工事期間中は工事車両の出入りや騒音など、ご迷惑をおかけして申し訳ありません。また、安全面には十分ご注意ください。
- ・保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をもって、両校ともに無事令和6年度を終えようとしています。ありがとうございました。引き続き両校にご支援を賜りますようお願いいたします。

